

PrimoでのAlmaマルチキャンパス設定

Note

Primo VEを使用している場合、詳細については「[Primo VEでのマルチキャンパス設定](#)」を参照してください。

[メニューに戻る](#)

Almaでは、キャンパスまたは図書館レベルで電子リソースを管理できます。電子リソースの購読に関してキャンパス間または図書館間に大きな違いがある場合は、Almaキャンパス/図書館ごとに別のPrimo機関を作成することを検討する必要があります。これにより、すべてのキャンパス/図書館が独自のCDIプロファイルを有し、利用可否がキャンパスに関連するようになります。Almaのマルチキャンパス設定に関する情報については、「[電子リソースへの分散アクセスの設定](#)」および「[キャンパスレベルでの表示ロジックルールの定義](#)」を参照してください。

設定

以下のセクションでは、AlmaのキャンパスごとにPrimoの機関を設定する際の特別な面について説明します。マルチキャンパス設定をさまざまな方法で実装することは可能ですが、その実装はローカルの要件に合わせる必要があります。

機関ウィザード

Primoのキャンパス/図書館ごとに機関を定義する場合、機関ウィザードで次の情報を設定する必要があります([Primoホーム]>[継続的な設定ウィザード]>[機関ウィザード]):

- Primoの各機関について、[Almaキャンパスコード]フィールドでAlmaキャンパスコードを指定する必要があります。システムは、openURL以外の機能(サービスページ、MetaLib、EBSCO APIなど)にこのフィールドを使用します。

Primoは、AlmaキャンパスコードをAlma機関キャンパスコードマッピングテーブルに自動で保存します。Almaの機関とキャンパスコードはコロンで区切られ、Primoの機関にマッピングされます。たとえば:

Alma機関キャンパスコードマッピングテーブル

Alma機関コード/キャンパスコード	Primoの機関名
01MY_INST:NORTH	北キャンパス
01MY_INST:SOUTH	南キャンパス

このマッピングテーブルの表示や編集はできませんが、正規化ルールからマッピングテーブルを参照することは許可されています(詳細は「[正規化ルール](#)」を参照してください)。キャンパスコードは機関ウィザードのみを使用して入力する必要があるため、マッピングテーブルは表示されません。

Note

正規化ルールからこのテーブルを参照する場合、システムはPrimoの機関名をPrimoの機関コードに変換します。

- 次のように、Almaキャンパスコードを基本URLに追加する必要があります。

```
http://<Alma domain>/view/uresolver/<Alma institution code>/openurl-<Alma campus code>
```

例：

Delivery Base URLs:	
MetaLib	<input type="text"/>
SFX	<input type="text"/>
ILS	<input type="text"/>
Alma	<input type="text" value="http://alma1.exlibrisgroup.com/view/uresolver/01UNV_INST/openurl-NORTH"/>

納入ベースURL

物理的所蔵

RTAの後に表示される利用可否ステータスがキャンパスに適用されるよう、キャンパスごとに物理的所蔵を分割することを検討します。これを行う場合、すべてのキャンパスと機関は、機関ウィザードで定義されたPrimo図書館について独自のリストを持つ必要があります。

ビュー

キャンパスごとにPrimoのビューを作成できます。これにより、ユーザーがサインインしない場合、CDI プロファイルとフルテキストの利用可否は常にキャンパスに関連するようになります。

正規化ルール

すぐに使用可能な正規化ルールが、MARC INSTフィールドからデリバリー/機関フィールドを作成します。そのため、ルールを更新して、機関の各キャンパスの配信/機関フィールドを作成する必要があります。マルチキャンパス設定では、機関(サブフィールド\$\$i)およびキャンパス(サブフィールド\$\$c)情報がMARC AVEフィールドに入力されます。正規化ルールはさまざまな方法で実装できます。オプションの1つは、Alma機関キャンパスコードマッピングテーブルを使用して、Almaの機関およびキャンパスコードをPrimoの機関コードにマッピングすることです。例：

Rule group delivery_institution

Type

Source MARC Field AVE Ind1 Ind2 Subfield Include i,c Enabled

Conditions logic

Conditions True

Condition 1 - Logic True

Condition 1 - Source	Type	Field	Ind1	Ind2	Subfield	Success If
MARC	AVE			Include	c	Match Current

Condition1 - Routines General Parameter

Routine Parameter

Input exists

Transformations

Transformation	Parameter
Copy As Is	
Replace Spaces by String	:
Use mapping table	Alma Institution Campus Codes

Behavior

Action ADD

正規化ルールのAlma機関キャンパスコードマッピングテーブル

原則として、すべてのキャンパスがPrimoの機関になるAlmaマルチキャンパス設定は、電子リソース用です。場合によっては、いくつかの一元化された機関ごとやキャンパス1つのみではなく、キャンパスごとに物理的所蔵を分けることも理にかなっています。キャンパスごとに冊子の所蔵を分割する場合は、AVA \$\$bのAlma図書館コードを使用して、冊子レコードのデリバリー/機関フィールドを作成できます。

追加のマッピング

下表で、Primoマッピングテーブルの標準設定のリストを示します。

Primoマッピングテーブルの設定

テーブル	説明
テンプレートマッピングテーブル	<p>Almaのキャンパスコードが次のテンプレートに追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> almasingle_services almagetit_services almaviewit_services. <p>たとえば：</p> <pre>{{api_base}}/view/uresolver/{{alma_institution}}/openurl{{alma_campus_code}}?</pre>
ILSアダプターテンプレートマッピングテーブル	<p>Almaのキャンパスコードが次のテンプレートに追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> almasingle_services <p>たとえば：</p> <pre>{{api_base}}/view/uresolver/{{institution}}/openurl{{alma_campus_code}}?</pre>